

企画展 西田幾多郎の

# 恩師 北条時敬

ほうじょうときき



大きい山に接していると、それが全体どういう山かよく分らない。私は先生については、いつもそんな感じがする。それで幾度か先生の事を書いて見たいと思ったが、どうも考が纏らない。 「北条先生に始めて教を受けた頃」冒頭

写真【左】北条時敬（大正15年）【右】西田幾多郎（明治39年頃、四高教授時代）

2018年9月26日（水）～2019年3月24日（日）

### 関連イベント ① 禅文化体験会

北条と幾多郎が打ち込んだ坐禅を体験します。

10月6日（土）18時30分～20時30分

講師：ゲッペルト昭元氏（観音寺住職）

場所：哲学館5F・展望ラウンジ 対象：中学生以上

定員：30名 参加費無料 要申込（先着順）

### 関連イベント ② ギャラリートーク

■ 2018年11月10日（土）11時開始（40分程度）

ゲスト：増山 仁氏（金沢ふるさと偉人館学芸員） 申込不要

※観覧料が必要です。

### 【同時開催】金沢ふるさと偉人館

企画展

## 「北条時敬とその教え子たち」

9月15日（土）～11月25日（日）

※9月26日（水）～11月25日（日）まで一方の半券提示で、もう一方の観覧料を団体割引（一般250円）



北条先生の熱中ようかん

展示会期間限定

閉基に熱中する北条先生のエピソードにちなんだ粒あん羊羹と飲み物のセットです。ぜひご賞味ください。

2階・喫茶テオリアにて

石川県 西田幾多郎記念哲学館  
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1  
TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320  
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>  
E-mail [nishida-museum@city.kahoku.lg.jp](mailto:nishida-museum@city.kahoku.lg.jp)

観覧時間 ■ 9:00～17:30（入室は17:00まで）  
休館日 ■ 月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）  
観覧料 ■ 一般300円 / 高齢者（65歳以上）200円 / 高校生以下無料

交通アクセス

【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC] - 国道159号線 (約20分)  
のと里山海道 [白尾IC] - (約5分)

【JR利用】金沢駅 - IRいしかわ鉄道線・七尾線 (約25分) - 宇野気駅 - 徒歩 (約20分) - 哲学館



企画展 西田幾多郎の

# 恩師 北条時敬

ときゆき

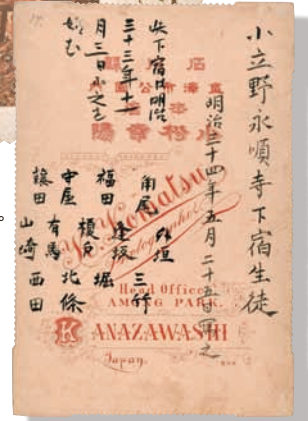


2018年9月26日(水)～  
2019年3月24日(日)

哲学者・西田幾多郎にも、学生や新米教師だった時期があり、たびたび「先生から叱られた」ことがありました。先生の名前は、北条時敬。金沢出身の数学者で、第四高等学校をはじめ各地の学校に赴任し活躍した教育者でもあります。幾多郎は十代の頃、北条から数学を学びその面白さを知り、また私生活でも北条の影響を受けています。進学時に悩みながらも数学ではなく哲学を専攻に選んだ幾多郎は、その後四高を中退し、帝大選科に入学、就職難などで苦勞をしながら教師生活を始めます。彼が転機を迎えるたび、そこには北条の叱責と導きがありました。幾多郎は北条に篤い信頼を寄せ、晩年まで親密な交流を続けました。その姿は、幾多郎の弟子たちが幾多郎を慕った姿にも重なります。地方の一学徒であった幾多郎が、多くの優秀な人材を育てた教育者へと成長していく過程に関わった恩師を紹介します。



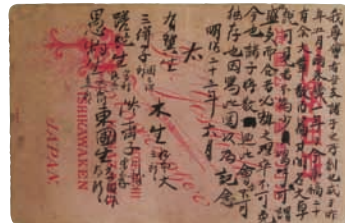
三々塾集合写真 明治34(1901)年5月25日  
北条時敬【前列左から2人目】、西田幾多郎【前列左端】  
※「三々塾」は、北条が四高校長時に幾多郎らが指導役となり設立された。



裏面  
西田幾多郎の書き込み



我尊会写真 明治23(1890)年6月  
西田幾多郎【後列右端】  
※当時の幾多郎は四高を退学していた。

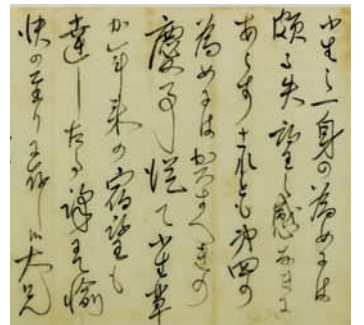


裏面  
西田幾多郎の書き込み



Treatise on infinitesimal calculus. Vol.1  
Oxford, Univ. Press, 1857(安政4年)  
(金沢大学附属図書館蔵、北条が四高に寄贈したもの)

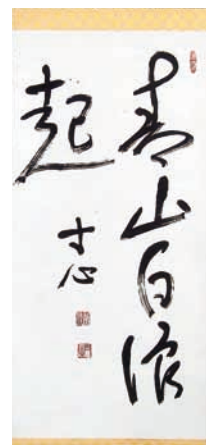
北条の四高転任に対して「小生一身の為めには、願る失望之感なきにあらすされとも第四の、為めには質すへきの慶事従て小生輩、か年来の宿望も達したる訳にて愉快の至りに存し候」



山本良吉宛書簡  
明治31(1898)年2月7日



トドハンター著 軸式円錐曲線法  
明治14(1881)年7月(金沢大学附属図書館蔵)  
※幾多郎が数学を学んでいた頃の日本語訳の数学書



掛軸「青山白浪起」

### ■その他展示資料

- 西田幾多郎差出、山本良吉宛書簡(明治31年、35年)
- 北条時敬差出、西田幾多郎宛葉書(大正13年) など